

京都市、京都市景観・まちづくりセンターへ寄付 ～文化財保護事業等の実施に関する三者連携協定に基づいて実施～

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金（所在地：京都市右京区、理事長：齋藤成雄、以下 当基金）は、京都の文化財保護に協力するため、京都市へ250万円、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター（以下 京都市景観・まちづくりセンター）へ50万円を寄付しました。12月16日に京都市役所（京都市中京区）にて寄付受納式が執り行われ、理事長の齋藤より門川京都市長、青山京都市景観・まちづくりセンター理事長へ寄付金の目録を贈呈しました。



寄付受納式。
左から、青山京都市景観・まちづくりセンター理事長、齋藤、門川京都市長

寄付金の内訳

1. 市指定・登録文化財の修理 100万円
2. 「国名勝 無鄰庵庭園」の「^{おんしちまつ}恩賜稚松の記」石碑の修理 100万円
3. 「国史跡 岩倉具視幽棲旧宅」の対岳文庫建具の修理 50万円
4. 京町家の保全・継承に係る改修助成 50万円

この寄付は、2018年2月に京都市、京都市景観・まちづくりセンターと締結した文化財保護事業等の実施に関する三者連携協定に基づいて行われたもので、今回で5回目となります。

無鄰庵庭園は施主山縣有朋の指示に基づいて、近代日本庭園の先駆者とされる作庭家、庭師7代目小川治兵衛により作庭され、国の名勝に指定されています。庭園の中心に座する「御賜稚松乃記」と題した石碑は、明治天皇から御所の稚松2株が園内に下賜されたことを記念して1901年に建立されました。経年劣化により石碑の表面が剥離し、文字が失われる可能性があることから、保存の措置を行う必要があります。

また、岩倉具視幽棲旧宅の対岳文庫は、岩倉具視遺品類や明治維新関係文書などを展示・収蔵するために1928年に建設され、2007年に国の有形文化財に登録されています。経年劣化により剥落していた対岳文庫の鉄扉を、2018年に当基金の寄付により修理されました。建具についても同様に経年劣化が進んでいるため、修理が行われる予定です。

当基金は、これからも京都の文化財保護活動に協力していきます。



無鄰庵「恩賜稚松の記」石碑



岩倉具視幽棲旧宅の対岳文庫



京町家（吉田神楽岡旧谷川住宅群）

以上

【本件に関するお問い合わせ】

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金 事務局 E-mail : sczaidan@nissin.co.jp